

拒絶理由通知書

特許出願の番号 特願2005-516460
起案日 平成19年 5月14日
特許庁審査官 清水 正一 8942 5P00
特許出願人代理人 前田 実(外 1名) 様
適用条文 第29条第2項

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

理由

この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前に日本国内又は外国において、頒布された下記の刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

(1) 請求項1, 3, 4, 6について

引用文献1

下記引用文献1(段落[0028]～[0032], [0037]～[0039], [0046], [0047]、図3を参照のこと。)には、モザイク状色フィルタを通して撮像された画素信号の補間を行うデジタルカメラの画像信号処理装置において、色間の推定近似線(回帰直線に相当)を算出し、その直線に基づいて補間を行う技術が記載されている。

そして、R, G, Bの画素信号をどのような順序で補間を行うかという点は、当業者が適宜なし得る事項に過ぎない。

(2) 請求項2, 5について

引用文献1, 2

下記引用文献2に垂直、水平の相関性の強い方向を検出し、相関性の強い方向の画素値を用いて補間を行う技術が記載されているように、相関の強い方向の画素値を優先して補間に利用することは、当該技術分野の慣用技術である。

引 用 文 献 等 一 覧

1. 特開平11-215512号公報
2. 特開2001-320720号公報

先行技術文献調査結果の記録

- ・調査した分野 I P C H 0 4 N 9 / 0 4 - 9 / 1 1
1 / 4 6 - 1 / 6 4
- ・先行技術文献 特開2000-224601号公報
特開2004-153823号公報

この先行技術文献調査結果の記録は拒絶理由を構成するものではありません。

この拒絶理由通知の内容に関するお問い合わせ、または面接のご希望がございましたら下記までご連絡下さい。

特許審査第四部 映像機器（テレビジョン） 清水 正一

TEL. 03 (3581) 1101 内線3579

FAX. 03 (3501) 0715